**第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会 優勝!!**

**古川学園高等学校女子バレーボール部**

　1月4日から8日にかけて東京都で開催された、第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春の高校バレー）で、古川学園高等学校女子バレーボール部が、23大会ぶり4度目の優勝を果たしました。

　京都橘高等学校（京都府）や九州文化学園高等学校（長崎県）、東九州龍谷高等学校（大分県）、熊本信愛女学院高等学校（熊本県）を破り、決勝戦では、誠英高等学校（山口県）をフルセットの末3－2で破り、見事優勝を勝ち取りました。

　同校は、令和4年に開催された第77回国民体育大会バレーボール競技少年女子でも、宮城県代表として優勝しており、春の高校バレーと2冠の快挙を成し遂げました。

　1月10日、校内で行われた優勝報告会では、優勝旗とともに凱旋した選手たちを、たくさんの生徒や教職員の拍手と歓声で出迎えました。

　熊谷主将は「決勝では、第1セットを取り、第2、第3セットを取り返され、後がない状況となったが、第4、第5セットは本来のバレーを取り戻し、一人一人が輝くバレーができた。3年間の中で一番楽しいバレーができた。皆さんの支えや応援がなければ日本一を成し遂げられなかった」と話しました。

　今大会で3年生が引退し、新チームとなる古川学園高等学校女子バレーボール部。日本一の勢いに乗った今後の快進撃が楽しみです。

写真：①日本一をかけて挑んだ決勝戦第5セット②優勝が決定し、喜び合う選手たち③優勝報告会では、たくさんの生徒と教職員の拍手や歓声で出迎えられ、選手たちは笑顔を見せていました

表紙写真、写真①、②は、古川学園高等学校 新聞部 提供